

第 17 回議会力向上会議記録（抄）

（26. 3. 28）

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった（別紙資料参照）。

なお、案件に入るに先立ち、田中 丈悦議員に代わり、長谷川 俊英議員が出席する旨、座長より報告があった。

1. 平成26年2月定例会で試行した議事運営の検証について 委員間討議について【議会基本条例第13条】

【協議結果】

引き続き、5月定例会において試行することを確認した。

2. 請願・陳情者の意見陳述について

陳述者が委員会において、「住所」を述べることについて

現行の申し合わせにおいて、意見陳述者は住所、(団体名)、氏名を述べることとして
いることについて、前回は引き続き、今後の取り扱いについて協議した。

【協議結果】

本件については、意見陳述者は現行どおり住所等を述べることとし、これについて問題
等が発生した場合は、申し合わせのとおり、議会運営委員会において協議することを確認
した。

なお、意見陳述の申し出時に「住所」を述べることについて、意見陳述者に支障の有無
及び支障がある場合はその理由を確認することとなった。

3. 議会報告会について

正副座長から議会報告会の開催方法案（資料3：案1～案3）が示され、今後の議会報告
会のあり方について協議した。

【各会派等より出された主な意見】

公 明 党 堺市議会議員団	議会報告会の現状について、問題の認識はある。 一方、本来の議会としての権能、常任委員会としての権能を発揮して 実施できる部分（公聴会及び参考人制度の活用等）と議会報告会とし て実施できる部分を切り分けて考えるべきであり、議会報告会を何ら かの形で改善するという一面だけの議論ではいけないのではないか。
大阪維新の会 堺市議会議員団	開催回数について、年4回を原則にしてはどうか。
長谷川 俊英議員	本会議場開催の是非をまず検討する必要がある。また、区役所単位で の開催についても検討してはどうか。

【協議結果】

本件については、正副座長案をたたき台として、各会派等において持ち帰り、具体的な
運用案、意見等をまとめて持ち寄り、5月役員改選後の議会力向上会議において協議し、
決定することとした。また、座長より、来年度、議会報告会を年4回開催するには、告知
期間など時間的に厳しいとの見解が示された。

4. 改選に向けた対応について

議員定数削減に伴う対応

- ・議場内の議員座席
- ・常任委員会数及び定数

【協議結果】

本件については、各会派等で持ち帰り、各々の意向をまとめていただき、5月役員改選後の議会力向上会議において、引き続き協議していくこととした。

5. 政務活動費運用指針について

平成25年5月定例会において、政務活動費の運用について、生計を一にする親族間の賃貸借契約には政務活動費の適用を不可とすることを求める陳情書が提出された。この陳情書に対し、生計を一にする親族との賃貸借契約については、他の政令指定都市等の運用状況も踏まえながら、今後、議会力向上会議で協議していくことを回答しており、本件について協議した。

【協議結果】

本件について、正副座長より、生計を一にする親族への政務活動費の支出については、賃貸借料だけでなく、人件費等も含めてすべて禁止してはどうか等の提案があり（資料4参照）、協議の結果、平成27年5月の改選時に合わせて、正副座長案のとおり政務活動費運用指針を改正することを確認した。

6. その他

吉川 敏文議員より、本会議等の議事録をより早期に作成されたい旨の要望があり、本件については、議会事務局の体制強化に関連することであるから、座長から議長へその旨を申し伝えることとした。

また、座長より、議会力向上を図る観点から、地方自治法改正の要点等をテーマとした研修会を来年度に開催してはどうかとの提案があり合意された。なお、具体的な内容等は改選後の議会力向上会議において協議していくこととした。